

5. ギャザーチュニック

<作品の説明>

ボートネックでウエストにギャザーの切り換えがあるチュニックです。

衿は見返しを付け、袖口と裾はカバーステッチで既製品と同じように仕上げます。

<習得できるロックミシンのテクニック>

見返しの付け方

カバーステッチの仕方

セパレート押えの使い方

<使用するミシン>

2本針4本糸のロックミシン(糸取物語シリーズ・衣縫人シリーズ)とふらっとろく(カバーステッチ専用機)

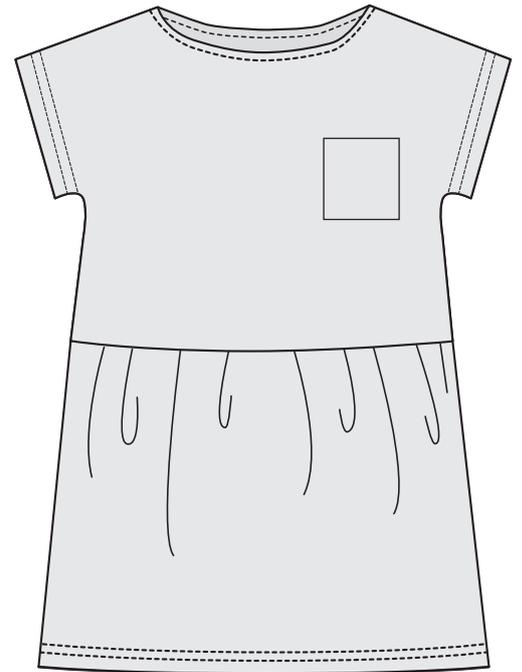
縫工房(1台で縫製可能です)

※ふらっとろく、縫工房をお持ちでない方はリブ付け、屏風たたみ縫い、ニット用裾まつり押え、ウェーブブロック、直線ミシンで始末して下さい。

<使うアクセサリ(押え金等)や洋裁道具>

バルキー押え

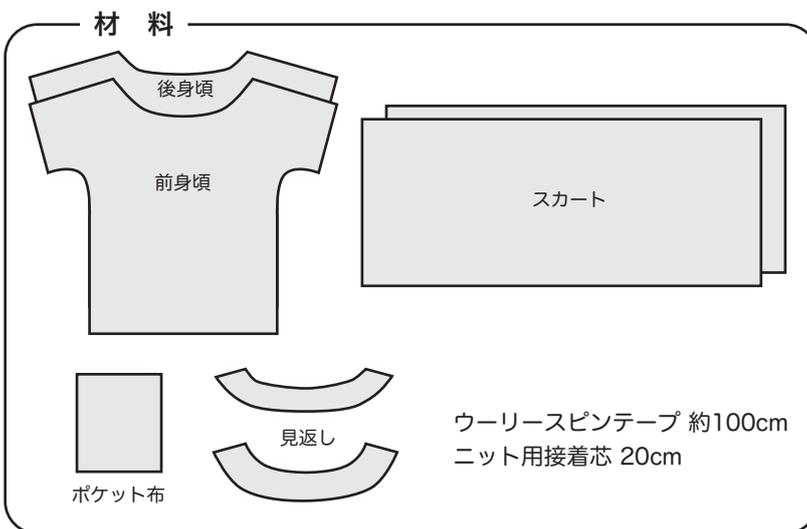
セパレート押え



出来上がりサイズ

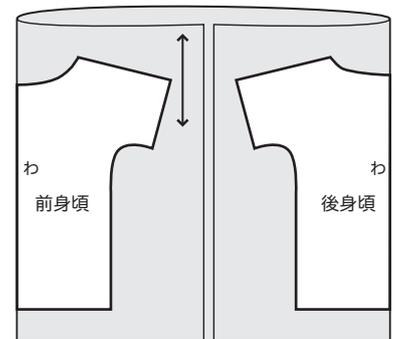
	バスト	着丈
フリー	94	85

用尺：ニット生地 140cm 幅以上 1.5m



裁断図

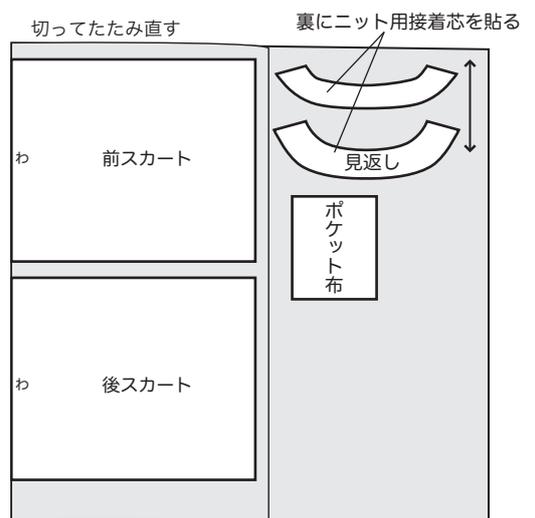
♀はノッチ(合印)のマークです。忘れずに印をつけましょう。



※前後スカートの型紙はありません。生地を下図の寸法に裁断してください。



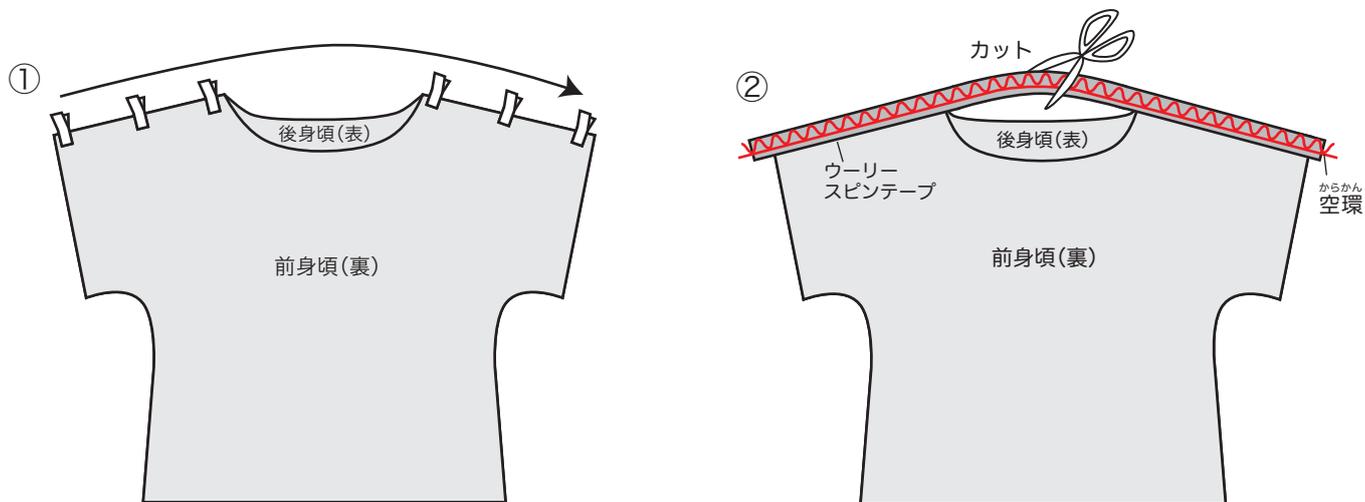
※生地によってギャザーの寄り具合が変わりますので調整してください。
セパレート押えを使わない場合は80cmに裁断します。



作り方

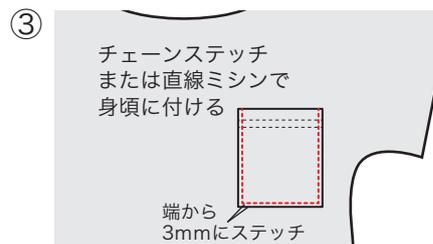
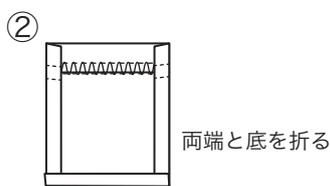
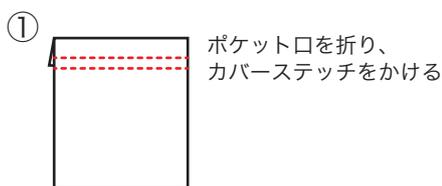
【肩の縫い合わせ】

- ①肩線で前身頃と後身頃を中表に合わせ、クリップでとめます。バルキー押えを用意し、ウーリースピントープを通してミシンに取り付けます。前身頃を上にして左肩から縫い合わせます。左肩が縫えたら糸を切らずにウーリースピントープだけを5cmくらい縫って右肩も続けて縫います。
- ②ハサミで肩の間の空環とウーリースピントープを切ります。縫い代は後身頃側に倒します。



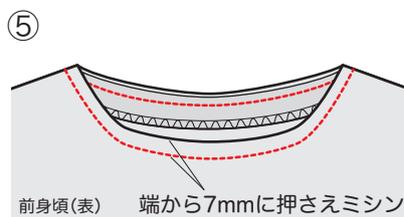
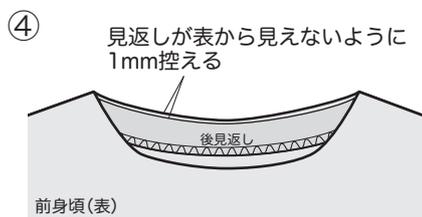
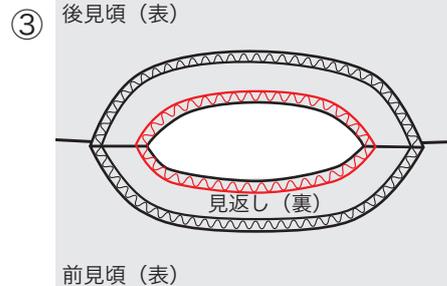
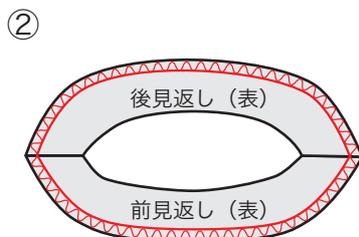
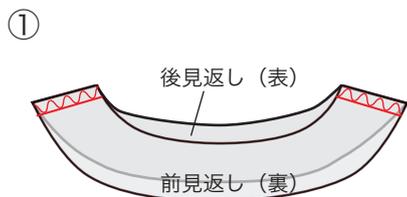
【ポケットを作り、付ける】

- ①ポケット口を2cm 折り、カバーステッチをかける。
- ②残りの縫い代をアイロンで折る。
- ③チェーンステッチで前身頃に付ける。



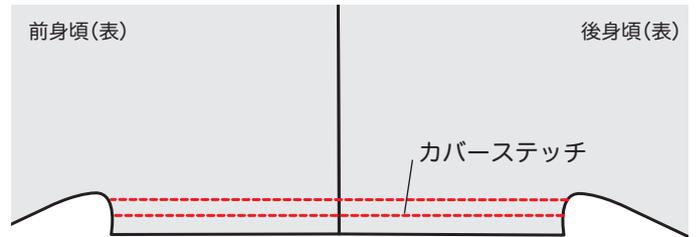
【見返しを付ける】

- ①見返しの肩線の中表に合わせ、縫い合わせる。縫い代は前身頃側に倒す。
- ②見返しの端をかがる。
- ③身頃と見返しを中表に合わせ、縫い合わせる。
- ④表に返し、見返しを1mm控えてアイロンをかける。
- ⑤端から7mmのところを押さえミシン(チェーンステッチまたは直線ミシン※ニット用の針と糸を使用)をかける。



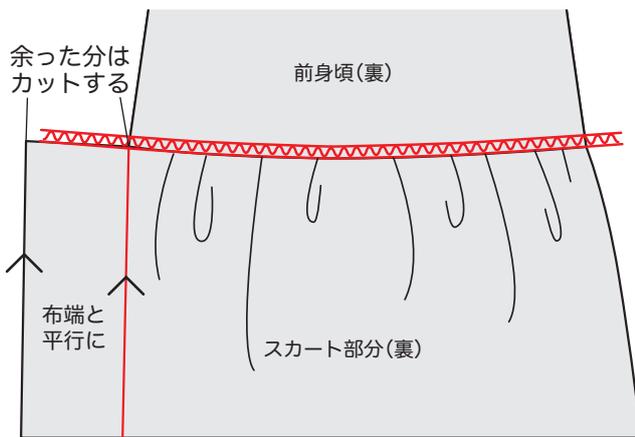
【袖口の始末】

- ①袖口を縫い代分2.5cmアイロンで折り上げる。
- ②カバーステッチを表側からかける。



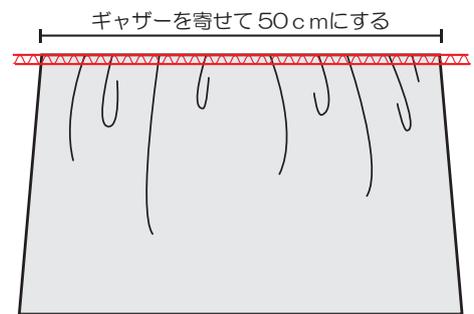
【見頃とスカートを縫い合わせる】

- ①セパレート押えをミシンにセットしてスカート部分にギャザーを寄せながら縫い合わせる。
【ミシン設定 かがり幅:7.5 送り目:3~4 差動:2】
- ②身頃からはみ出たスカート部分をカットする。



<セパレート押えがない場合>

1. かがり幅を5.5、送り目を4、差動を2にしてスカートの上端を縫い、ギャザーを寄せる。
2. 針糸を引いて、ギャザーを調整して50cmにする。
3. 身頃と中表に合わせ、縫い合わせる。



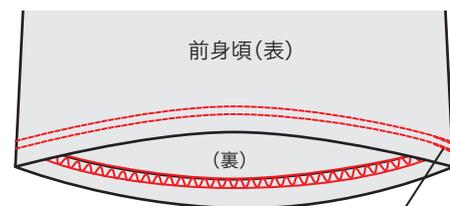
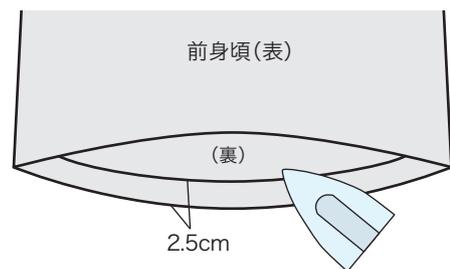
【脇の縫い合わせ】

- ①脇を中表に合わせ、縫い合わせる。



【裾の始末】

- ①裾を縫い代分2.5cmアイロンで折り上げる。
- ②カバーステッチを表側からかける。



縫い始めと3~4cm重ねて縫ってから糸を切る

<アレンジ例>

カバーステッチミシンをお持ちでない方は袖口と裾を直線ミシン、ニット用裾まつり押え、ウェーブロックなどで始末しましょう。袖口はリブ仕上げでも作れます。(型紙あり)
お持ちの方は襟ぐりを四つ折バインダーで処理するとかんたんです。